# 7 村上春樹『沈黙』

僕がなんとかその地獄のような状況から立ち直ったのは、それが始まって一ヵ月経った頃でした。僕は学校に行く電車の中で青木と偶然顔を合わせたんです。電車は例によって満員で、身動きができないくらいでした。僕のちょっと先に青木の顔が見えました。二人か三人の人を隔てて、誰かの肩越しに、青木の顔が見えました。僕と彼とはちょうど向いあうような恰好で顔を突き合わせていたんです。彼も僕のことに気づきました。しばらく僕らは顔を見合わせていました。きっとその頃僕はひどい顔をしていたんだと思います。よく眠れないし、ノイローゼ気味になっていましたから。それで最初のうち青木は（ア）冷笑するような目で僕のことを見ていました。どうだ、といわんばかりにです。①僕はこれらの出来事が全部青木が仕組んだことであることを知っていましたし、青木も僕がそれを知っていることを知っていました。僕らはしばらくのあいだじっとみ合っていました。でも僕はその男の目をみているうちに、②だんだん不思議な気持になってきたんです。それは僕がこれまでに感じたことのない感情でした。もちろん僕は青木に対して腹を立てていました。時には殺したいくらい憎んでいました。でもその時、電車の中で僕が感じたのは怒りとか憎しみよりは、むしろ悲しみとかれみに近い感情でした。本当にこの程度のことで人が得意になれたり、勝ち誇ったりできるのか、これくらいのことでこの男は本当に満足し、喜んでいるのだろうか、と僕は思いました。そう思うと、僕はなんだか深い悲しみを感じたんです。この男にはおそらく本物の喜びや本物の誇りというようなものは永遠に理解できないだろうと僕は思いました。ある種の人間には深みというものが決定的に＊欠如しているのです。僕は自分に深みがあると言っているわけじゃありません。僕が言いたいのは、その深みというものの存在を理解する能力があるかないかということです。でも彼らにはそれさえもないのです。それは空しい（イ）平板な人生です。どれだけ他人の目を引こうと、表面で勝ち誇ろうと、そこには何もありません。何の意味もないのです。

僕はそんなことを思いながら　彼の顔をじっと静かに見ていました。もう青木のことを殴りたいとは思いませんでした。彼のことなんてどうでもよくなってしまったのです。

語注

欠如＝（必要なものが）欠けて足りないこと

問1　波線部（ア）・（イ）に最も近い意味の熟語を、それぞれ次から選べ。（5点×2）

（ア） 冷笑

　ア　苦笑　　イ　　　ウ　微笑　　エ　失笑

〔　　　〕

（イ） 平板

　ア　孤独　　イ　怠惰　　ウ　無欲　　エ　単調

〔　　　〕

問2　傍線部①について

（１）　「これらの出来事」によって「僕」はどのような状態になったか。解答欄に合うように傍線部より前の語句を用いて十五字以内で答えよ。（12点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の状態

（２）　青木は（１）の事実をどうとらえているか、最も適当なものを次から選べ。（8点）

ア　自分の意図した以上の結果に喜びを隠せないでいる。

イ　自分の意図した通りの結果になったと満足している。

ウ　自分がしでかしたことの重大さを深く反省している。

エ　自分がしたことが皆に知れ渡ることを警戒している。

〔　　　〕

問3　傍線部②とあるが、「不思議な気持」になる以前の「僕」は青木に対してどのような感情を持っていたか。それを最も端的に表している語句を本文から十字以内で抜き出せ。（10点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

問4　本文の特色として最も適当なものを次から選べ。（10点）

ア　子供に対して大人が優しく説明する調子。

イ　子供に対して大人が厳しく教えす調子。

ウ　友達に対して説得しようと熱く話す調子。

エ　友達に対して静かに語りかける調子。

〔　　　〕

練習問題〈四字熟語②〉

次の（　）の中の正しいほうの漢字に○を付けて四字熟語を完成させよ。また、それぞれの意味を後から選べ。

①　五里（霧・夢）中　（　　　）

②　（単・短）刀直入　（　　　）

③　心（気・機）一転　（　　　）

④　首尾一（巻・貫）　（　　　）

⑤　危機一（発・髪）　（　　　）

⑥　（緩・援）急自在　（　　　）

⑦　（因・囚）果応報　（　　　）

ア　行為の善悪に応じて報いがあること。

イ　いきなり本論に入ること。

ウ　気持ちをすっかり変える。

エ　ひとつ間違えば危険に陥りそうなこと。

オ　最後まできちんと筋が通っている。

カ　手がかりがなく、方針や手段に迷うこと。

キ　その場その場に応じて自由に調節するさま。

【解答】

問1 （ア）＝イ　　（イ）＝エ

問2 （１）よく眠れず、ノイローゼ気味（の状態）（13字）

（２）イ

問3　怒りとか憎しみ（７字）

問4　エ

【練習問題解答】

①霧・カ　②単・イ　③機・ウ　④貫・オ　⑤髪・エ　⑥緩・キ　⑦因・ア

【50字要約例】

「僕」は青木を憎んでいたが、彼に深みのない人間が持つ空しさを感じて、彼のことなんてどうでもよくなる。（50字）